

臨床実習 総括的ルーブリック評価票

学籍番号：

氏名：

評価項目	レベル3（優秀）	レベル2（普通）	レベル1（要努力）	レベル0（不合格）	評価方法
ソーシャルスキル 40%	診療放射線技師が関わる様々な場面で、患者との適切な関係性の構築に努めることができる。チーム内での他職種との関係性および診療放射線技師の役割について理解し、適切に対応できる。 (31点～40点)	ある程度の助言・指導の下、一定の場面で患者との関係性構築に努めることができる。チーム内の多職種との関係性及び診療放射線技師の役割について理解している。 (21点～30点)	その都度助言・指導が必要であるが、一定の場面であれば患者との関係性構築およびチーム内での多職種との関係性及び診療放射線技師の役割について理解し、改善しようとする姿勢がみられる。 (11点～20点)	度重なる助言・指導を繰り返し、一定の場面であってもなお患者との関係性構築およびチーム内での多職種との関係性及び診療放射線技師の役割について理解し、改善しようとする姿勢がみられない。 (0点～10点)	4つの科目別ルーブリック評価票（画像診断Ⅰ、画像診断Ⅱ、核医学診断、放射線治療）の情意評価に基づき、40点満点に換算する。
ポートフォリオ 30%	成果報告会、自己学習や報告書の記録など、必要なものが適切に実施・記録・整理されており、質・量ともに十分な内容である。（30点）	成果報告会、自己学習や報告書の記録など、必要なものが適切に実施・記録・整理されており、まとまった内容である。（20点）	成果報告会、自己学習や報告書の記録など、必要なものは実施・保管されているが整理されておらず、記録の適切さや内容に乏しい。（10点）	成果報告会、自己学習や報告書の記録など、必要なものが実施・保管されていない。もしくは提出が無い。（0点）	養成施設のチェック基準に基づき、レベルを決定する。
チェックリスト 30%	学習項目において、「理解し質問できる、または質問に答えられている」レベルの項目が多い。 (24点～30点)	学習項目において、「概ね理解している」以上のレベルの項目が多い。（18点～23点）	学習項目において、「理解がやや不十分である」レベルの項目が多い。（12点～17点）	学習項目において、「理解していない」レベルの項目が多い。（0点～11点）	4つの科目別ルーブリック評価票（画像診断Ⅰ、画像診断Ⅱ、核医学診断、放射線治療）の情意評価以外の項目に基づき、30点満点に換算する。ただし、項目数（割合）や「見学」「協同参加」「実施」などの基準は養成施設にて決定する。

※ 臨床実習は、本ルーブリックにおける各評価項目の合計点で最終評価する。ただし、1項目以上でレベル0（不合格）が存在する場合は不合格とする。